

1 学校教育目標

伸びる子 強い子 やさしい子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	児童が安心して学び、安全に楽しく生活できる学校 バランスの良い「知・徳・体」を育むことができる学校 地域と協働し、保護者や地域の期待に応え、信頼される開かれた学校
○児童像	自分から進んで、より高い所を目指して学び生活する子ども 健康で強い意志をもって、正しいことをする子ども 豊かな心で思いやりをもち、誰とでも仲良くする子ども
○教師像	使命感・展望・情熱をもち、指導・校務・研究にバランスのよい力量を身に付けた教師 子供が「できた」「分かった」「もっとやりたい」と実感できる、主体的な学びを引き出す授業ができる教師 児童を深く理解して共感的な生活指導に努め、「いじめを絶対に許さない学級づくり」が果たせる教師 組織人としての責任感、協調性を有し、高次元の和で結束する教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

- ・明るく素直で思いやりと優しさをもつ児童が多い。学びの意欲や基礎体験の保障により、さらに伸びる子供たちである。
- ・教職員は、本校に初任で着任した若手教員が多いが、教育への熱心さや愛情が感じられる。中堅教員の中には、示範授業を務める授業力に加えて、経営方針の具現化に結び付く校務の推進ができる力量も身に付き、成長著しい。全教職員が「西新井小を良い学校にしていく」理念のもと一致結束している。
- ・家庭、地域は温かく学校に協力的である。地域は昔からの協力体制が整っている。町会・自治会の結束力も高い。地域で子供たちを見守る風土もある。様々なボランティア活動へ協力的である。

【前年度の成果と課題】

- ・地域の方々の協力により、開校90周年記念式典を盛大に挙行できた。
- ◎特色ある教育の推進
- 東京都プログラミング教育推進校として、計7回の授業研究、公開授業、研究報告会等での発表の機会をもち、学校レベルアップを図ると共に区内小学校への先進校としての責務を果たすことができた。
 - 全学年とも、防災巻の授業を行うことにより、「自分の身は自分で守ること」の理解を深め、主体的に防災を推進する力の育成を図った。また、5年生による地域の「西新井小避難所運営訓練」への参加は、恒例行事になりつつある。

○「英語が話せる小学生」を目指す外国語活動の積極的な推進に努めてきた。周年式典のオープニングでは6年生が英語で自己紹介や特技の披露を行う場をもち、学習成果の発表ができた。

- ・大きな事件や事故の発生もなく一年間を終えることができた。
- ・学校に無償の愛を注ぐ地域の方々と子供たちが実際に触れ合う機会を意図的に設定することで地域との協働を果たすことを目指してきた。各学年とも地域の人材を活用した協働授業（年間3回）実施や交流給食、集会活動等への参観招待を推進してきた。地域の方々の感触も良好であり、学校に対する愛着の深まりも果たすことができたを受け止めている。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H30	R1	R2	R3	R4
1	学力向上アクションプラン	○	○	◎	◎	◎
2	安全で安心できる学校づくり	○	○	◎	◎	◎
3	開かれた学校づくりの推進	○	○	○	○	○

5 令和2年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎学力の定着		80%以上		R 2.7月実施 全体：82.7 (国語：79.5、算数：85.8) * 全体・算数は区平均以上 * 国語は区平均－0.4		自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	基礎学力 の定着	国語 算数	毎週	パワーアップタイム 担任による朝学習 放課後学習教室 全教員による補充指導 家庭学習 eライブラリの活用	12月2月に 過去の区学力 調査問題（過 去問）実施	・国語の正答率 80%以上 ・算数の正答率 80%以上	自己評価の際に記入		

2 継続	授業観察 OJT	全教員	概ね、 6月 10月 2月	管理職による定期授業観察 ・事後指導、OJTペアによる授業観察・事後指導 ・全29項目・授業の型を身に付けさせる。 ・授業の基礎・基本「西新井小スタンダード」「足立スタンダード」の修得 ・項目ごとに評価、「授業力カルテ」として成長点や課題を明確にする。	・3半期ごとの授業カルテによる確認 ・カルテによる達成度(数値)による測定	・年間各3回完全実施 ・カルテによる達成度平均75点以上	自己評価の際に記入
	若手教員 育成研修 会	10年目以下の若手 教員	特設時 間、諸会 議、打ち 合わせ	・教職の基礎・基本「西新井小スタンダード」教科ごとの授業力の基礎・基本「足立スタンダード」、危機管理・ICT機器活用等、知識・技能の修得	・研修会の開催回数	・年間50回以上 (平成31年度実績51回)	
	小中連携 研究会及 び校内授 業研究	全教員	小中連 携研究 授業1 回 校内研 究授業 3回	・「学力の向上」を実現できる授業力向上を図る。 ・西新井小スタンダード・足立スタンダードの修得 ・帯時間帯・ICT活用、言語活動、ノート指導について効果的な指導法を開発し、精度を向上。	・研修会の開催回数	・小中連携研究授業1回 ・校内研究授業3回	
	特色① プログラ ミング教 育・ICT 機器活用	教職員 授業全般	小中連 携研究 会、校内 研究会	・ICT機器のよさを生かした授業づくり ・プログラミング教育 ・PCスキルの習得	・研究会の開催実績 ・プログラミング授業公開	・小中連携1回 ・校内研究3回 ・プログラミング公開2回 ○合計6回	

6 継続	特色② 防災教育	全児童	総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> 防災巻授業を活用した安全教育の推進 ZOOMを活用した被災地とのオンライン学習実施 	<ul style="list-style-type: none"> 防災巻授業 児童が被災地との学習に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年とも防災巻授業の実施 	自己評価の際に記入
7 継続	特色③ プレゼンテーション能力育成	全児童 *コミュニケーション能力育成	朝会、	<ul style="list-style-type: none"> World Time 朝会等創意工夫した外国語活動の推進 プレゼンテーションの指導実践研究(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> 朝会実施数 研究授業 	<ul style="list-style-type: none"> 朝会10回 プレゼンテーション研究授業2回 	

重点的な取組事項－2		安心できる学校づくり					
A 今年度の成果目標		達成基準		実施結果		コメント・課題	達成度
自らの安全が確保できる児童の育成と学校の安全確保		指導、訓練、研修会の完全実施		自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み							
項目	達成基準	具体的な方策		実施結果		コメント・課題	達成度
いじめの防止・早期解消	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針に則った取組の完全実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ」の適切な理解、報告・連絡・相談による情報共有、「いじめ」を見逃さない学校の体質づくり 		自己評価の際に記入			
安全指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 全11回の安全指導、完全実施 避難訓練の内容全面改定。多様な場面を想定する年間13回、避難訓練の計画と実施 	<ul style="list-style-type: none"> 教育計画にある各月安全指導避難訓練、安全教室の確実な指導と避難訓練実施方法の工夫改善 					

児童の安全確保ができる教師	<ul style="list-style-type: none"> ・「危機管理研修会」年間10回実施 ・各月「安全点検」完全実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会と現場での経験を通して全教職員に、①全ての危機管理に当事者意識をもたせ、②安全確保を職務行動として示すことができる力を身に付けさせる。 	自己評価の際に記入
---------------	--	---	-----------

重点的な取組事項－3		地域に開かれた学校づくり			
A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度	
開かれた学校づくりの推進	P T C A委員の教育活動への参画と協働授業の推進	自己評価の際に記入			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
P T C A委員の教育活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働授業各学年年間3回実施 ・集会への招待者数R1年度比0.5倍 	<ul style="list-style-type: none"> ・P T A、P T C A、町会との連携 ・地域の「名人」「達人」の発掘と教育活動参加 	自己評価の際に記入		

6 まとめ	
(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性 (2) 保護者や地域へのメッセージ (3) その他(学校教育活動全般について)	自己評価の際に記入